

みんなですすめる まちづくり

まちづくり

都市整備基本計画

都市（まち）は、歴史的にみて、その時代ごとの政治、経済、産業さらには住民の生活形態、生活水準に応じ様々な変遷を経てきています。そして、その時代ごとの要請に応じて様々な投資が行われ、都市空間が形成されてきています。

都留市も同様、昔からの城下町、織物、そして学園のまちと、歴史を重ね都市がつくられてきました。

しかし、近年本市を取り巻く社会情勢は激しく変動し、時代の要請も変わってきています。その要請に合った投資を行い、変動していく社会情勢を受け止め、本市へ進出してくる外部の資本と共存共栄できる『都市（まち）』をつくらなければなりません。

その都市（まち）づくりの指針となるものが、現在策定を進めている『都市整備基本計画』です。

また、都市は人間居住の主要な場として住民の生活、産業、文化等の全生活様式に密接に関わっています。したがって、都市（まち）づくりにあたっては、主役であるそこに住む人々とのかわりあいの中で都市（まち）づくりを進めていくことが大切です。

そこで、市では市内有識者、市議会、市民代表等二十九名による『まちづくり研究会』を発足させ、この計画策定に深く関与していただいています。